地域密着型サービス運営推進会議 (令和４年度・第５回)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施 設 名 | | グループホーム・スマイル家族 | | | | | | | | | |
| 開催日時 | | 令和　５年　２月　２４日（金）　　1４時００分　～　１４時３０分 | | | | | | | | | |
| 開催会場 | | スマイル家族・事務室 | | | | | | | | | |
| 参 加 者 | | ご 利 用 者 代 表 | | | |  | | | | | |
| ご 家 族 代 表 | | | |  | | | | | |
| 地 域 住 民 代 表 | | | |  | | | | | |
| 有 識 者 | | | |  | | | | | |
| 介護保険課 | | | |  | | | | | |
| 地域包括支援センター | | | |  | | | | | |
| 事 業 者 | | | | 陶久、折野、漁淵 | | | | | |
| 施 設 運 営 状 況 | | | | | | | | | | | |
| 入 居 者 要 介 護 度 | | | | | | | | | | | |
| 要介護１ | | | 要介護２ | | 要介護３ | | | 要介護４ | | 要介護５ | |
| 男１人 | 女２人 | | 男１人 | 女６人 | 男３人 | | 女１人 | 男１人 | 女１人 | 男０人 | 女１人 |

要支援２　女1人

|  |
| --- |
|  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 入 居 者 年 齢 | | | | | | | | | |
| ６０歳未満 | | ６０歳代 | | ７０歳代 | | ８０歳代 | | ９０歳以上 | |
| 男０人 | 女０人 | 男０人 | 女０人 | 男２人 | 女５人 | 男４人 | 女５人 | 男0人 | 女２人 |

|  |
| --- |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 職　　　員 | | | |
| 正 規 職 員 | 1２人 | パート従業員 | 10人 |

|  |
| --- |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 保有資格 | | | |
| 介護支援専門員 | 2人 | 介護福祉士 | ５人 |
| 実務者研修 | ３人 | 基礎研修又は1級 | 3人 |
| 看護師 | ２人 | 初任者研修又は2級 | 1４人 |
|  |  | その他 | 3人 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受 講 研 修 等 | | | |
| 認知症対応実践者研修 | ７人 | 地域密着型サービス管理者研修 | ３人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報 告 事 項 | |
| 行 事 等 |  |
| 4年12月  5年１月  5年2月  その他 | 12月生まれの入居者様のお誕生会とクリスマス会（１Ｆユニット・２Ｆユニット）  季節性インフルエンザの感染対策研修（全職員）  身体拘束廃止に向けての適正化委員会開催  新春お祝い（２Ｆユニット）  新型コロナウイルス感染対策見直し及び研修（阿南保健所訪問指導・全職員対象）  ２月生まれの入居様のお誕生会とバレンタインのお祝い（２Ｆユニット）  身体拘束廃止に向けての研修会「高齢者虐待」  12月　退去者1名  1月　入居者1名  2月　退去者1名　入居者1名　　　現在空室はありません。 |
| 議　題 | 新型コロナウイルスクラスターの対応と検証・今後の課題他 |
|  | ＜クラスターの対応＞  １月１２日頃より入居者様の発熱や職員の体調不良が見られ、新型コロナウイルスの感染が拡大し、入居者様9名・職員9名が陽性者となりクラスターとなりました。介護保険課や阿南保健所・提携医療機関と連携し、感染拡大防止対策を徹底し施設運営を継続致しました。阿南保健所より、酸素濃縮器やパルスオキシメーターの貸し出しや更なる感染対策の指導を受け、重篤化した場合の対応に備えました。入居者様の中には、隔離の理解が難しい方もおられ頻回の居室誘導が必要な方や発熱による身体の痛み・尿路感染等、症状の強い方や療養期間の長引いた方もおられます。療養後もほぼ寝たきり状態が改善せず、1名が老人保健施設に移られました。  ＜検証・課題＞  ・陽性者の救急搬送や病院での受入れが困難なため、施設内での体調観察や服薬継続しか方法がなく、重篤化した場合適切な治療が受けられない可能性がありました。  ・陽性者の居室訪室のための、アルコール消毒・エプロン・フェイスシールド・ガウン・グローブの着脱や配膳・排泄介助等に時間を要し、陰性入居者様の十分なケアが足りない状況もありました。  ・急激に感染が拡大したため、物資の確保に戸惑いがありましたが、施設での早急な購入や県からの援助物資があり対応が出来ました。  ・職員も多数感染し、少ない人員で業務を行わなければならず陰性職員の負担が増大しました。職員不足に対しては、同法人の「デイサービスセンターあんずの丘」より急遽応援職員を配置し、陰性者の入浴等の身体介護に関わって頂きました。  ＜今後の面会や外出の検討＞  ・施設では衛生管理の徹底や机上のパーテーションの設置、座席の間隔保持等感染予防を継続しています。現在面会や受診以外の外出は禁止させて頂いていますが、県内での感染状況により随時検討を行っていきます。  ・花見や買物等の外出の機会を月１回でも実施していきたいと思います。 |

グループホーム・スマイル家族

|  |
| --- |
|  |